

三菱重工業株式会社第36回無担保社債（三菱重工グリーンボンド）レポート

1. 資金充当状況レポート（2021年3月末時点）

当社グループは、脱炭素社会の実現に向け、適格クライテリアで定めた再生可能エネルギー／クリーンエネルギー事業（風力発電設備／事業・水素発電設備／事業・地熱発電設備／事業）に取り組んでいます。

2020年11月24日に発行した三菱重工業株式会社第36回無担保社債（三菱重工グリーンボンド）による調達資金は、全額を再生可能エネルギー事業（洋上風力発電設備にかかる出資の一部のリファイナンス）に充当しており、未充当残高はありません（資金充当日：2020年11月24日）。

(単位：百万円)

項目	金額
調達額（本社債発行額から発行諸費用を除いた金額）	24,893
資金充当額	24,893
未充当残高	0

2. インパクト・レポート

本グリーンボンドで調達した資金を充当した事業・プロジェクトにおける環境改善効果の各種指標は以下の通りです。

項目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
新規設置発電容量(MW)	365	816	864	785	804
想定年間発電量(MWh) (上段：単年度、下段：累計)	981,602	3,176,087	5,499,659	7,610,776	9,772,989
	981,602	4,157,689	9,657,348	17,268,124	27,041,113
期待される二酸化炭素排出削減 効果の年間総量(万トン)* (上段：単年度、下段：累計)	49	160	277	384	493
	49	209	486	870	1,363

* 国際金融公社（IFC：International Finance Corporation）が公表する平均的な排出係数及び国際再生可能エネルギー機関（IRENA：International Renewable Energy Agency）が公表する平均的な稼働率を利用して算出

グリーンボンドで調達した資金は、上記の通り適格クライテリアで定めた再生可能エネルギー事業に全額充当しておりますが、当社グループはこの他にも適格クライテリアで定めた再生可能エネルギー／クリーンエネルギー事業（風力発電設備／事業・水素発電設備／事業・地熱発電設備／事業）に積極的に取り組んでおります。主な参加プロジェクトは以下の通りです。

【再生可能エネルギー事業（風力発電設備／事業）】

・北海道洋上風力発電開発での Copenhagen Infrastructure Partners との協業

当社は、デンマークの Copenhagen Infrastructure Partners P/S と北海道における洋上風力発電プロジェクトの開発に関して協業することで合意し、「北海道洋上風力開発合同会社」を設立しております。

日本では今後、洋上風力発電が大幅に増加することが予想されています。風況に恵まれた北海道において共同で事業開発することにより、日本の洋上風力発電の普及に貢献してまいります。

・風力発電設備販売の合併会社 MHI ベスタスジャパン設立

当社とデンマークの Vestas Wind Systems A/S は、風力発電機事業を中心とした再生可能エネルギー分野における両社の協業強化の一貫として、風力発電設備販売の合併会社 MHI ベスタスジャパンを設立し、2021 年 2 月 1 日に営業を開始しました。

同社の創設を通じて、これまでに MHI ヴェスタスオフショアウィンドを通じて築いてきた技術、経験、信頼をさらに発展させ、日本における陸上・洋上風力発電の拡大に貢献するとともに、両親会社の優れた技術力や豊富な経験を結集し、脱炭素に向けた世界規模での取り組みを加速させてまいります。

【クリーンエネルギー事業（水素発電設備／事業）】

・Hydrogen Pro への出資

当社は水の電気分解で水素を製造する水電解装置の開発・生産を手掛けるノルウェーの Hydrogen Pro AS に出資しました。新規株式公開により同社が事業拡大に向けた増資を図るのを機に、新株購入募集に応募したものです。脱炭素化時代に向けた持続可能な社会の実現に貢献すべく、中核技術となる水電解装置の技術を持つ同社とのパートナーシップを構築し、当社は水素製造プラントの供給に取り組んでいきます。

3. 第三者評価機関におけるアニュアルレビュー

Sustainalytics より 2021 年 3 月までの実績について、アニュアルレビューを受けており、当社ウェブサイト上にレビュー結果を公開しております。

以上